

# JA佐伯中央 自己改革 これまでの取り組み

ダイジェスト版



平成27年11月に開催された第27回JA広島県大会にて、「自己改革でつくる農と協同の新時代」をスローガンに県内13JAのすべてが「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、自己改革に取り組んでいます。

## JA佐伯中央では自己改革として 2大強化策を実施しています

### 強化策 産直事業の機能強化

農業者の所得増大、販売高の拡大、JA産直ふれあい市場利用者の利便性の確保・向上をキーワードに取り組んでいます。

### 強化策 准組合員との 結びつき強化

正組合員と同様に准組合員との結び付きの強化、JA運営への参画促進、複数事業の利用促進をキーワードに取り組んでいます。

## 強化策

### 産直事業の機能強化

産直出荷者の利便性向上に向けて、バックヤードの整備を行ったほか、コンテナを増やし出荷量の増大を図りました。



最新の精米機を導入しました。毎週土曜日を「お米の日」に設定し販売向上に取り組みました。



各種売り出しイベントでは、多くの方に来店いただき、満足していただきました。



レジ待ち時間の短縮を図るためにレジを増設し、4台体制にしました。その結果、JAカードでのお支払いもスピーディーになりました。(全国のJA産直市場ではJAカード使用で引落時に5%OFFとなります※予告なく終了する場合があります。)



地域やJA主催の各種イベントに参加し、産直ふれあい市場出張移動販売を行い、地産地消に取り組みました。



長ナス生産者が対面販売を行い地元特産のPRを図りました。



産直ふれあい市場をより身近に感じていただけるように、イメージソング「農楽日和」を作成しました。



店内に大型モニターを設置し、生産者の紹介を行いました。



## JA佐伯中央は地域から絶対に必要だと言ってもらえる存在になることを目指します。

## 強化策

### 准組合員との結びつき強化

准組合員向け広報誌「農楽日和」を創刊し、地元の農家や特産を紹介しました。多くの読者より貴重なご意見をいただきました。(年2回発行)



平成29年に初めて健康ウォーキング「春の吉和を歩く」を開催し、健康増進を図るため約150人が参加しました。



親子で農業体験「親と子の野菜スクール」を開催し13家族47人が参加し、農業体験を行いました。



支店協同活動(全支店)としてJA職員が地域の活動に多く参加しました。



農業体験を通じて組合員との結び付き強化を図るため、平成29年に初めてさつまいも収穫体験を開催し、132組486人が参加しました。



JA及び支店をもっと身近に感じていただけるよう、身近な情報誌として全店で支店だよりを年2回発行しました。



子ども達に今以上にサッカーを好きになってもらおうと、JAカップ佐伯中央サッカー大会を平成29年に初めて開催し、8チームが参加しました。



廿日市市、大竹市と地域見守り活動の協定を締結しました。全職員が地域の見守り隊として地域福祉の向上に寄与しています。

